



## 第3回・第4回

# 工学部の教育活動紹介『工学部の教育・入試』

平成 21 年度教務委員会委員長（教授 成行義文）

### 【工学部の7学科と学部・大学院一貫教育】

- 工学部には、人類が自然と共存共栄するために必要な知識・技術を学習できる学科が揃っている。建設・電気電子・知能情報・光応用・機械・化学応用・生物 ← 学生各自の興味と特性に合った学科を選択することができる。
- どの分野も、専門の細分化と高度化により学部4年間だけですべて修得することは難しくなった。→ 学部では専門基礎を多くの実験・実習を交えてみっちり学習し、応用とより高度な内容は大学院で学ぶ。(学部4年間+大学院(博士前期課程)2年の6年一貫教育を標榜)

### 【恵まれた教育環境】

- 国際標準の教育プログラム：JABEE（日本技術者教育認定機構）認定
- 進取の気性の育成：従来の慣習にこだわらず進んで新しいことにチャレンジする気性を持った学生の育成。例えば、実用的な青色発光ダイオードを世界で初めて開発した中村修二氏（日亜化学工業→米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授，H54年修士課程電子工学専攻修了）
- 高校から大学へのソフトランディング：高大接続科目（全学共通教育）、工業基礎英語・数学・物理
- 情報リテラシー教育：多数のPCが設置された実習室。学生が自由に使える利用室・コーナー有
- e-learningならびにu-learningの充実
- 創成学習開発センター：もの作り教育の要
- 日亜特別待遇奨学生制度：センター試験を課す入試合格者（推薦Ⅱ，前期，後期）。センター試験成績8割以上ならば確実に奨学生となれる。金額：10万円/月（返済義務なし）。各学科平均2名程度（計14名程度）。大学院への進学希望者。
- 日亜STC（スーパーテクノロジーコース）：優秀な高度専門職業人の短期育成のためのコース。早期卒業・飛び級・短縮修了等を積極的に活用し、学部入学から大学院（博士後期）修了までの期間を、一般の9年（4年+2年+3年）から例えば7年（3年+2年+2年）に短縮。←就職にも有利。
- 日亜特別成績優秀賞：各学科1名（前年度の成績がトップ）、奨学金額（副賞）10万円
- DDプログラム（大学院）：徳島大学と外国連携大学院の双方でマスターあるいはドクターの学位が取れる。
- 長期インターンシップ（大学院）：3ヶ月以上特定企業・役所等で学外研修。単位として認められる。

### 【工学部を直接知る機会】

- オープンキャンパス，工学体験大学講座，科学体験フェスティバル ← H22年8月開催予定

### 【多様な入試制度】

- ・センター試験を課さない推薦入試（推薦Ⅰ：一般，帰国子女，社会人）
- ・センター試験を課す推薦入試（推薦Ⅱ）
- ・前期入試
- ・後期入試

以上